

図書館だより

今月の新刊を紹介します。

問 タルイピアセンター ☎23-3746 FAX 23-3745

開館時間：10:00～18:00

休館日：7/1(月)、8(月)、16(火)、22(月)、25(木)、29(月)

きゅうしょくたべにきました

(シゲリ カツヒコ、KADOKAWA)



強い風が吹いて、給食の献立表が飛ばされてしまい、雲の上で暮らす小鬼たちが受け取った。献立表の「シチュー」が気になる小鬼たちは、給食を食べに小学校へ行くことにしたが…。みんなの給食が大ピンチ！

友だち関係で悩んだときに役立つ本を紹介します。

(河出書房新社編集、金原ひとみほか、河出書房新社)



「友人がいない」「価値観が合わない」「疎遠になってしまった」…。友だち付き合いに悩んだら読んでほしい一冊を、作家・インタビュアー・哲学者など19人の多様な書き手が紹介する。

娘が巣立つ朝

(伊吹有喜、文藝春秋)



娘の婚約をきっかけに一家は荒波に揺さぶられ始める。父母そして娘。3人それぞれの心の旅路は、ときに隔たり、ときに結びつき…つむがれていく家族の物語。『河北新報』他掲載に加筆。

折って楽しい、使ってかわいい!スヌーピー折り紙

(いしばしなおこ、ブティック社)



折り紙でアメリカのコミック「PEANUTS」の愛すべきキャラクターたちを再現! スヌーピーのぼち袋など、折ってかわいいのはもちろん、折った後に「使える」アイテムも含め全60点を紹介。コピーして使う型紙付き。

紹介文：TRC MARC

お知らせ

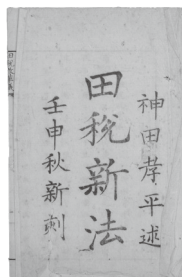
- ▶テーマ展示 「天気と友達になる本」「げんきなからだ」「全国安全週間」
- ▶絵本のよみかせ会 毎週土曜日 午後2時から
- ▶としょかんスタンプラリー ～7/28(日)
- ▶図書館にご来館の際は、マイバッグをお持ちください。

歴史探訪

「民」を重んじた思想家 神田孝平

垂井町岩手出身の神田孝平は、幕末から明治中期にかけて学者、官僚、思想家として活躍しました。

幕末には幕府の教育機関である蕃書調所ばんしやうじやうしよで数学教育を担当し、経済学、政治学、法学、考古学など日本では黎明期れいめいきにあった学問の発展に貢献しました。また、明治政府に出仕し官僚として活躍し、地租改正の端緒となる建議を行い税制改革に大きな影響を与えるとともに、明治初期の段階で納税者の代表が議員となる先進的な議会を開設しようとし、兵庫県令に就任して地方制度整備に尽力しました。さらに、思想家として政治・経済論や県令として実施した県政の内容を出版物に公表して、自身の考えを積極的に普及しようしました。



▲地租改正に影響を与えた著作「田税新法」

このような先進的な思想家であった神田の業績は忘れられつつありますが、長崎大学の南森茂太准教授は、『民』を重んじた思想家 神田孝平』を出版し、神田孝平の業績を明らかにされました。また、岩手地区では、神田孝平の業績をたたえるため、毎年顕彰行事を行っており、今年は8月2日に挙行されます。垂井町を代表する偉人「神田孝平」を知っていたく機会としていただければと思います。

『垂井町史』通史編・史料編

タルイピアセンター、役場会計窓口、文化会館で販売中 各4,000円

(神田孝平の資料を8月4日(日)までロビーで展示しています)